

将来を見据えた本格的な製造・物流拠点、海外戦略拠点を求めて (株式会社 大洋発條製作所)

会社概要(平成24年10月現在)

- 所在地:大阪府東大阪市長田東4-3-29
- 代表者:代表取締役社長 橋本 大介
- 資本金:8,000万円
- 売上高:30億円
- 従業員数:130名
- URL: <http://www.taiyo-spring.co.jp/info/outline.html>

①事業概要

<精密プレス部品及び板バネ製造>

当社では、金型の設計・製作、プレス・フォーミング加工、熱処理、表面加工までを全て自社で行っている。多様化するお客様のニーズに応えるため、金型の設計・製作、プレス、フォーミング、熱処理、表面処理など、多様な先進機器設備を充実させ、日々技術力を磨いている。

営業拠点は、国内に4カ所、生産拠点は京都とタイに1カ所ずつある。顧客は、自動車部品メーカー、コンピュータ部品メーカ、建築部品メーカと幅が広い。

②海外展開概要

<東南アジアにおける工場設置>

国内での工場では、自動機による大量生産を主としており、それ以外の少量加工、組立等は、当社工場の周辺にある他社の工場に委託して行ってきた。しかし、後継者不足等により、生産に影響してきたため、海外での新工場設立を目指すことになった。当社はすでにタイに進出しているが、長期的な観点から新たに独自の製造・物流機能を有した海外戦略拠点を確立する必要があったため、ベトナム進出を計画した。理由としては、バイク生産・消費大国であること、自動車の市場規模は今後拡大する見込みがあること、アセアン自由貿易地域の関税撤廃の動きなどがあった。

③取組の重点(活用した支援策を含む)

ベトナム調査を有意義にするために、事前に中小機構のアドバイスを受け、商品生産に必要な加工先の照会を行った。その後、専門家による現地同行アドバイス制度を利用して、工業団地の視察を行った。登記や税などの細かい点についても継続的にアドバイスを利用することで解決できた。その結果、平成19年12月に無事、会社を設立することが出来た。

④今後の事業展開について

今後は、設備投資を増やし、日本の工場と同等の開発・生産体制を整える予定である。現地に、生産を移管し、日本への製品輸出を増やす。日本国内での価格競争・品質競争への対抗力を増やすためである。

そうする事によりベトナム国内での競争力も高まり、さらに現地での売上を確保する事を目論んでいる。

ベトナム人設計者育成にも積極的に取り組んで、日本国内本社での人材不足への対応も考えている。



(平成24年10月現在)

データ出所:(独)中小企業基盤整備機構